

平成 24 年 4 月 9 日

医療提供体制推進室
室長 福村孝治 様

建設部長 林 克之
景観審議会 会長 谷明彦
(公印省略)

加賀市統合新病院建設についての提言

加賀市統合新病院建設の基本計画策定にあたり、景観の観点から下記のとおり提言いたします。

景観形成の核となる統合新病院の建設にあたり、公共建築の規範となるように配慮して、事業を推進するようお願い申し上げます。

記

1. 景観軸の形成

駅と駅前プロムナード、そして十字路交差点を結んだ延長上のラインが将来的な景観軸と考えていることから、景観軸の構造・見え方については十分配慮すること。また、駅周辺のアーバンデザインについても勘案すること。

2. 富士写ヶ岳眺望景観の確保

JR加賀温泉駅新幹線ホーム予定地H=10.0m地点の視点場からの富士写ヶ岳の眺望については十分配慮すること。

3. 全方向からの景観形成

建物の正面性の景観だけでなく、ボリューム感を抑えた全方向からの景観にも十分配慮すること。

4. 景観上好ましい駐車場整備

駐車場が連続して続くことは景観上好ましくないので、分散して駐車場を整備すること。また、緑などを植え少しでも駐車場らしさを抑えること。

5. 病院施設内の眺望点整備

病院が新たな眺望点となることが考えられることから、眺望景観を十分取り入れた病院設計とするよう努めること。

6. 赤瓦の魅力発信

高層建築に赤瓦を利用するのではなく、低層建築や外構周りなどに赤瓦を利用し、加賀市が目指す赤瓦の魅力を上手く伝えること。

7. 加賀市景観計画

景観法に基づく加賀市景観計画を遵守すること。